

【建設工業新聞 令和3年1月13日】

年頭所感

振り返りますと、昨年は7月に九州地方で記録的な大雨が降り、鹿児島県、熊本県などで甚大な被害が発生し、多くの人が避難を余儀なくされました。例年と違うのは、新型コロナウイルス感染症の拡大のさなかにおける災害と避難行動だ



ったということ。感染拡大を防止するために、避難所の収容人数を制限しなければなりません。このため避難所に行っても入れないという状況も発生しました。体調の悪い人がこのため避難所に行っても入れないという状況も発生しました。体調の悪い人が

きた。避難所の収容人数を制限しなければなりません。このため避難所に行っても入れないという状況も発生しました。体調の悪い人が

きた。避難所の収容人数を制限しなければなりません。このため避難所に行っても入れないという状況も発生しました。体調の悪い人が

限界工事量を確保

群馬県建設業協会会長 青柳 剛

来るケースも考えられます。自治体の担当の人たちは細心の注意を払い、本当に大変だったと思います。当協会では、自然災害とコロナ禍という、複合的な災害における避難に対応で

来るケースも考えられます。自治体の担当の人たちは細心の注意を払い、本当に大変だったと思います。当協会では、自然災害とコロナ禍という、複合的な災害における避難に対応で

来るケースも考えられます。自治体の担当の人たちは細心の注意を払い、本当に大変だったと思います。当協会では、自然災害とコロナ禍という、複合的な災害における避難に対応で